8・5開幕
第100回記念
全国高校野球選手権
地方大会
21日

躍動W藤原

寝屋川の16K

大阪桐蔭の単

北大阪大会では公立の進学校・寝屋川が、阿武野を破って4回戦へ進出した。今春大阪大会でセンバツV・大阪桐蔭を苦しめた右腕エース・藤原涼太投手（3年）が、9回1失点で16三振を奪う快投を見せた。大阪桐蔭は今秋ドラフト1位候補・藤原恭大外野手（3年）の満塁弾などで大勝。香川大会では第1回大会出場校の高松が、逆転で64年ぶりに決勝進出。北北海道大会は旭川大高が制し、代表一番乗りを決めた。

北大阪

▽3回戦（万博）
寝屋川　002030103　9
阿武野　000001000　1
（寝）藤原—岡崎（阿）前場、井上、今釘—山下
本三浦（阿）

“不動心投”で

モットーは不動心。藤原は酷暑の中でも表情を変えずに投げ続け、公式戦自己最多の16奪三振。試合後も浮かれなかった。

「今日は75点。狙った所に投げられていない。強豪だと打たれるので」。自己評価は控えめだったが、春からの成長は示した。

最速137㌔の直球と、封印したフォークを除く5種類の変化球を低めへ集めた。一回2死から4者連続、四回2死三塁からは5者連続三振を奪った。

16日の2回戦・大阪戦は160球を投げて延長10回を完投。それでも週に3度は100球を投げてきた右腕は、この日、中4日で122球を投げても「体は大丈夫」と疲れた様子も見せなかった。

因縁の相手であり、最大のライバルと再戦するまで負けられない。この日の組み合わせ抽選で、大阪桐蔭との対戦は準決勝以降と決まった。今春大阪大会準々決勝。九回2死まで1点リードしながら、二塁手の適時失策で同点を許し、サヨナラ負けした。

「野球人生の中で一番悔しかった。今も最後の場面とかを思い出します」。試合映像を見て心境を振り返り、根尾や藤原をイメージして練習し、レベルアップしてきた。

強豪との惜敗を経て、チームの意識も変わった。達大輔監督（41）は「今までは私学を倒すことが目標だったけど、選手が『桐蔭を倒そう』と言っている。うちは失うものはない。正しく攻めて、戦いたい」と選手への信頼を口にした。

「桐蔭とはできれば決勝で戦いたい」と藤原。卒業後は神戸大か大阪市大への進学が目標で、大会中も約3時間の勉強を続けている。文武両道を貫き、強豪との再戦を目指す。（西岡　誠）

9回、近山（右）を二飛に打ち取る寝屋川・藤原（撮影・佐藤厚）
㊦16奪三振の快投で笑顔を見せる

▽3回戦（大阪シティ信用金庫スタジアム）
常翔啓光学園　00000　0
大阪桐蔭　34110×　18
（規定により五回コールド）
（常）井上、田窪、八木—平塚（大）横川—小泉、青木
本藤原（大）

死角なし

チーム19安打の中でも出色の打撃だった。

で『打った瞬間にいった』という打球はなかなか打てるものじゃない。スイングの軌道がいい」と絶賛した。

この日も大阪市内は酷暑だったが、大阪桐蔭の暑さ対策は万全。5月中旬から始まる伝統の追い込み練習は、

9回1失点！待ってろ大阪桐蔭

WHO'S WHO

藤原　涼太（ふじわら・りょうた）00年6月27日生まれ、18歳。170㌢、78㌔。大阪府枚方市出身。桜丘北小1年時に桜丘北ウインズで野球を始め、中学時代は枚方ヤングホークスでプレー。寝屋川では1年秋からベンチ入り。遠投95㍍、50㍍走6秒8。兄の風太投手は京大3年で、エースとして活躍中。

南大阪大会　北大阪大会
4回戦、準々決勝　組み合わせ

北大阪大会

春日丘 千里青雲	㉔万10・00	㉕万10・00
寝屋川		
守口東 大阪電通大高	㉔シ9・00	
履正社		
金光大阪	㉔シ11・10	㉕シ13・20
東 同志社香里		
箕面学園 常翔学園	㉔シ13・20	
大阪桐蔭		
桜塚 大産大付	㉔南9・00	㉕南13・20
大冠 大手前		
大阪国際大和田 池田	㉔南11・10	
東海大仰星 北摂つばさ		
香里丘	㉔南13・20	㉕万12・10
早稲田摂陵		
大院大高 港	㉔万12・10	
門真なみはや 関大北陽		

南大阪大会

堺東 上宮太子	㉓久10・00	㉕シ9・00
東大阪大柏原 信太		
八尾	㉓シ9・00	
生野 富田林		
近大泉州	㉓シ11・10	㉕シ11・10
天王寺		
大阪偕星学園 城東工科	㉓シ13・20	
東住吉総合 大体大浪商		
初芝立命館	㉓南9・00	㉕南9・00
かわち野 阪南大高		
大商大堺	㉓南11・10	
大阪学芸		
近大付	㉓南13・20	㉕南11・10
岸和田		
鳳 三国丘	㉓久12・10	
堺西		

◆球場・シ＝大阪シティ信用金庫スタジアム（舞洲球場）、万＝万博、南＝大阪市南港中央、久＝久宝寺

北大阪

▽3回戦
大阪桐蔭　18—0　常翔啓光学園
金光大阪　8—0　島本
寝屋川　9—1　阿武野
香里丘　7—6　星翔
履正社　5—1　汎愛
早稲田摂陵　11—4　交野

滋賀

▽3回戦
滋賀学園　10—6　比叡山
水口　6—3　彦根総合

京都

▽4回戦
塔南　1—0　京都翔英
京都国際　6—2　花園

南大阪

▽3回戦
初芝立命館　10—0　泉陽
近大付　12—0　貝塚南
岸和田　4—3　清教学園
天王寺　6—1　花園
八尾　4—2　東住吉

浦和学院　190㌢渡辺6回無失点

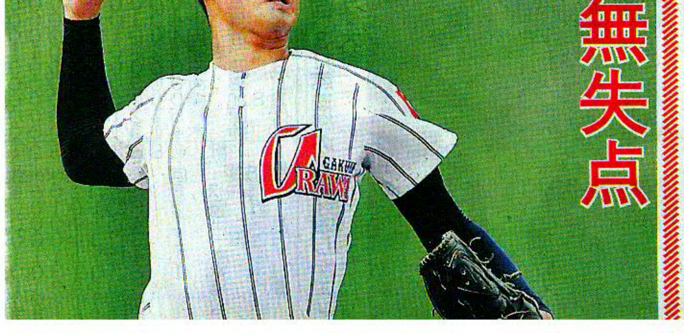
南埼玉

▽準決勝（大宮公園）
浦和学院　010002022　7
聖望学園　000000000　0
（浦）渡辺、永島、美又—畑（聖）坂本、北原、広瀬、川畑、野瀬—土師、青木

大型右腕が、真夏の主役に名乗りを上げた。プロ注目の渡辺勇太朗投手（3年）が、今夏初先発で6回無失点の快投。完封リレーで聖望学園を下し、5年ぶりの夏切符まで、

アップと多彩に変化球を操った。四回まで無安打。MAX146㌔の直球はこの日143㌔止まりだったが「相手が真っすぐに全然合っていなかった」と会心の表情を見せた。目標の投手は大谷（エンゼルス）。雑誌などで投球フォームを参考にし、自身の進化につなげてきた。

3月に右肘を痛め、春の県大会はメンバー



4番河端2発

広島

▽3回戦（しまなみ）
西条農　000000　0
広陵　000208×　10
（規定により六回コールド）
（西）東森、藤田—吉川（広）森—鉤流
本河端2（広）

〈広陵〉4番・河端利晶内野手（3年）が2本塁打を含む3安打3打点と大暴れだ。四回無死で左翼ポール直撃の先制ソロ。六回にはバックスクリーン右へ2ランをたたき込んだ。1年時に4番を託された逸材だが、甲子園で準優勝した昨夏は細菌系の病気でメンバーから外れた。最後の夏へ「勢いを付けられるような打撃をしたい」と前を見据えた。

7回、バックスクリーン右へ2ランを放った広陵・河端（左）

▽3回戦
広島商　8—1　尾道北
高陽東　4—3　呉港
基町　5—2　如水館
山陽　9—8　盈進
広島新庄　6—1　尾道商
大竹　10—0　呉宮原
広島工大高　10—4　上下
広陵　10—0　西条農

鳥取

▽準々決勝
鳥取城北　8—3　八頭
倉吉西　9—8　米子工

島根

▽3回戦
石見智翠館　8—6　三刀屋
益田東　8—5　開星
立正大淞南　11—0　大東
大社　7—0　松江南

岡山

▽3回戦
創志学園　7—0　岡山城東
倉敷商　10—0　岡山芳泉
玉島商　5—1　おかやま山陽
高梁日新　5—3　岡山一宮

山口

▽3回戦
岩国商　10—2　聖光
宇部鴻城　15—5　宇部
高川学園　6—0　華陵
下関国際　10—0　下関西
光　3—2　岩国
宇部工　7—4　宇部商
徳山　5—2　下松
早鞆　5—2　厚狭

横浜8強

南神奈川

▽4回戦（バッティンパレス相石ひらつか）
藤沢清流　1010000
横浜　140320×
（規定により七回コールド）
（藤）渋谷、渡辺、内山
山口（横）及川、万波、
川—山口、角田

今秋ドラフト候補横浜・万波中正外野（3年）が投打の一流で8強入りに貢献た。昨秋以来の4番起用されると、このも2安打。今夏3試連続でマルチ安打をつなど好調を維持いる。

四回には先発した速152㌔左腕・及（およかわ）雅貴投（2年）の後を受け3回戦に続きマウンへ立った。「相手が